

Topic 6 第57回枕崎市総合文化祭「市民芸能祭」を開催



①少年少女合唱団による進行 ②特別ゲストなかざわけんじさん ③クラシックバレエあーとかんぱにい ④市之瀬章先生によるろくろ体験

11月3日から19日までの期間、市民会館で生花展、南溟館で美術展、写真展等の展示を行いました。また、11月3日には、写真や水墨画、陶芸講座などの芸術体験ワークショップを開催し、多くの方が芸術の秋を楽しみました。

11月5日には、市民会館大ホールで第57回枕崎市総合文化祭「市民芸能祭」を開催し、枕崎少年少女合唱団の子どもたちによる進行のもと、郷土芸能やダンス、合唱や日本舞踊など23団体が日ごろの活動の成果を披露しました。また、特別ゲストとして「思い出がいっぱい」でおなじみの元H<sub>2</sub>Oの「なかざわけんじ」さんが出演し、その優しい歌声やトークに会場は温かい雰囲気になっていました。

Topic 7 博多駅構内で南薩4市の魅力を発信「まるっと南薩フェア」を開催



11月11日から12日の2日間、福岡市の博多駅構内において南薩4市(枕崎市、指宿市、南九州市、南さつま市)の魅力を発信する「まるっと南薩フェア」を開催しました。

博多駅中央改札口前イベントスペースでは、さつま鯉節協会による鯉節パックの配布や枕崎市茶業協議会より提供されたお茶パックの配布や観光PRを行いました。また、博多駅1階ショッピング施設内のイベントスペース「マイニング広場」では、南薩地域地場産業振興センターや薩摩酒造株式会社の特産品の販売を行いました。2日間で多くの方が訪れ、枕崎の魅力をPRすることができました。

Topic 3 災害に備え連携体制を確認～令和5年度集団災害訓練を開催



▲防護服を着装しての危険物除去訓練 ▲応急救護所での救急活動訓練

10月28日、市営野球場駐車場において、集団災害訓練が実施されました。市消防本部、市医師会、枕崎警察署、建設業組合など7団体50名が参加しました。

訓練は、毒物を積載した車両が通行人を撥ね、建物に激突した場面を想定。防護服を着装しての危険物除去訓練や運搬車両による負傷者のトリアージおよび搬送訓練など、各団体が相互に情報を共有しながら連携し、迅速な救助を行う体制を確認しました。

Topic 4 田口真耶さん国体なぎなた競技会 成年女子演技競技優勝で表敬訪問



10月14日から16日に市立総合体育館で開催された「燃ゆる感動かごしま国体なぎなた競技会」成年女子演技競技で優勝した、田口真耶さん(鹿児島銀行枕崎支店勤務)が、

10月30日に前田市長を訪問し、結果を報告しました。田口さんは「地元の方々の多くの声援に、いつもとは違う高まりを感じて、応援の力の凄さを実感しました。その反面プレッシャーもありましたが、いい結果が残せて安心しました」と振り返りました。12月3日には、県代表として全日本なぎなた選手権にも出場しています。田口さんのますますの活躍を期待しています！

Topic 5 各学校が特色ある行事を実施～地域が育む「かごしまの教育」県民週間



11月1日から7日は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間でした。期間中は市内小・中学校でさまざまな取組が行われ、一般公開されました。2日には、枕崎中学校で学習発表会・合唱コンクールが開催され、訪れた多くの保護者や地域の住民らが生徒たちの渾身の発表に耳を傾けました。7日には、桜山小学校で応急給水訓練が行われ、災害時に備えた体験をすることができました。

Topic 2 子どもたちのスポーツイベントに笑顔あふれる



▲未歩行の赤ちゃんによる「ちびハイ」 ▲ランニングバイクレース「ちびのり」

10月28日、お魚センターで未歩行の赤ちゃんによる「ちびハイ(ちびっこハイハイレース)」が開催されました。ちびハイは、直線のコースを赤ちゃんそれぞれのお気に入りの小物で誘導し、ゴールを目指します。

参加した親子は、思うように進まない子どもたちに苦戦しながらも、涙あり笑いありのさまざまなドラマが生まれ、会場は温かい雰囲気になっていました。

10月29日、市営野球場駐車場で、2～6歳の未就学児を対象としたランニングバイクイベント「ちびっこのりだー」が開催されました。上級者になると、大人が走っても追いつけないほどのスピードがでるランニングバイクでのレースに、子どもたちは真剣なまなざしで挑んでいました。市外や県外からも多数のエントリーがあり、枕崎のお土産品のプレゼントに子どもたちは喜んでいました。

Topic 1 片平山配水池に枕崎小学校 6年生による絵が登場



10月26日、枕崎小学校の6年生67名が、片平山配水池の旧配水池壁面にきれいな海や水をイメージした絵を描いてくれました。本市の水道に親しみ、地元への愛着を持ってもらおうと本市水道事業が企画したもので、約40mの壁面に「おいしい水をありがとう 海も水もきれいな町 枕崎」のメッセージとともに気泡や海の生き物などを描き、少し寂しかった壁面が賑やかになりました。

参加した松崎優衣さんと立石瑠衣さんは「枕崎のきれいな海をイメージして描きました。途中から手袋で塗り始めてペンキがついたけど、楽しかったです！」と話しました。

認知症高齢者を支える方へ 「見守り安心シール」を活用しませんか？

認知症で帰りが分からなくなる高齢者とその家族の支援のため「枕崎市見守り安心ネットワーク事業」を開始します。

この事業では、行方不明になる可能性のある高齢者の事前登録と希望される方に二次元コード付の「見守り安心シール」を交付します。事前の登録で「もしも」に備えましょう。

「見守り安心シール」は行方不明時に発見した人が携帯電話で二次元コードを読み取ると保護者へ発見通知メールが届きます。読み取った画面で高齢者のニックネームや注意すべきこと等の対処方法が分かり、チャット形式の伝言板で保護者とやり取りができます。

事前の登録、相談は地域包括支援センターで受け付けています。

○ 認知症の人への対応の心得「3つの「ない」

高齢者は情報の整理が得意ではありません。戸惑っているときには特に不安を強くもっています。シールのついた衣服を身につけた高齢者を見つけた場合は優しく声をかけてください。

- 驚かせない ● 急がせない
- 自尊心を傷つけない

認知症は早期に発見、治療を受けることで進行を遅らせたり、改善できる場合があります。認知症かもしれないと思ったらかかりつけ医や地域包括支援センターにご相談ください。

■ 問合せ 枕崎市地域包括支援センター  
TEL73-5131、76-1072、76-1168

